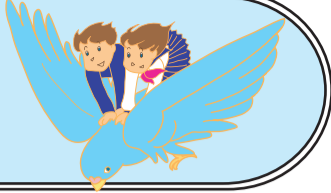


君とつばさ



平成24年1月1日発行
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
 0093 (電話) 03(3556)0771
 (HP) <http://www.kotsuji.com>

©交通遺児育英会

事業計画 着実に達成

23年度上期事業報告

公益財団法人交通遺児育英会は昨年11月30日、第2回通常理事会を開き、上期事業報告と正味財産増減決算報告(年度予想ベース)を行った。公益財団法人に移行して初めてのとなる上期は、各事業を計画に沿って着実に実施した。



23年度上期事業報告を行った通常理事会

【事業報告】
 ▼奨学生の採用
 上期に新たに採用した奨学生は、前年同期に比べて高校、大学生が減ったため、全体で75人減の495人だった。継続奨学生は、同56人増の1085人。奨学生の総数は、同19人減の1580人となった。このため、奨学金の総額は、同2600万円減って4億2200万円となった。
 入学一時金を利用したのは、前年とほぼ同数の252人で、貸与額は1億5400万円。また、奨学金と一時金を合わせた貸与総額は5億7600万円、同1500万円減となった。

▼奨学金の返還
 奨学金と入学一時金を合わせた回収額は、4億5400万円、返還率は86.4%となった。上期に返還猶予を認めた967人のうち、44人が東日本大震災の被災者だった。
 5年以上にわたって返還実績のない長期滞納者対策として、督促状を1739件送り、37件を解消させた。並行して、岡山、静岡両県で現地訪問を行い、23件を解消。また、滞納者全員に行った督促通知で35件を解消させ、合わせて上期に95件を解消した。

海外語学研修 第9期生を募集

3面参照

は応募がなかった。
 ▼学生寮の維持管理
 心塾東京寮では、新入塾生19人全員に対する面談のほか、読書感想文3回、文章講座3回、スピーチ講座2回を行った。関西寮では、各学生寮への巡回訪問による懇談のほか、読書感想文3回を行った。
 ▼募金活動
 上期の寄付金は8700万円。大口寄付が減っていること、震災の影響などから、件数、金額とも伸び悩み傾向が続いた。他方、寄付金の決済方法を多様化するため、6月からコンビニエンスストア決済を、8月から銀行口座振替を、それぞれ導入した。

▼奨学生に対する指導
 高校奨学生と保護者が集まる「つどい」を、8月19〜21日に中国・四国・九州地区を対象に行い、40家族105人が参加した。
 「相談会」を年度計画5都市のうち、上期は、静岡、仙台両市で開き、参加率ともに18%だった。
 スタート8年目の「海外語学研修」は、大震災の影響で面接を取りやめ、作文審査によって、イギリスに30人、カナダに2人を派遣した。オーストラリア枠に

は応募がなかった。
 ▼学生寮の維持管理
 心塾東京寮では、新入塾生19人全員に対する面談のほか、読書感想文3回、文章講座3回、スピーチ講座2回を行った。関西寮では、各学生寮への巡回訪問による懇談のほか、読書感想文3回を行った。

▼第2次長期事業計画の推進状況
 5年計画の最終年度となる今年度は、上期に公益法人化を滞りなく達成した。平成20年度から始まった、旧運輸省からの自動車事故対策補助金の返納は、今年度も10月に1億4000万円を返還した。
 資金ベースから損益ベースに変更された。
 一般正味財産では、財産運用収益1億7200万円・受取寄付金1億9200万円(大口寄付の減少で前年比で1億3500万円減)などにより、経常収益が3億8700万円と見込まれている。
 これに対し、経常費用は、事業費4億9100万円・管理費9100万円(差引き1億9500万円)の赤字。

孫がかわいい、とお年寄りがよく目を細める。「孫というのは、子どもよりずっと含蓄がある。……子は、自分の人生にも意味があったと何となく感じさせてくれるが、孫は、それを確信させてくれる。(スウェーデンの作家、ヘニング・マンゲル Henning Mankell 厄介者)▼1年前、街角で、ママに抱かれた赤ちゃんやパパに手を引かれた子を、じっと見つめた。命が、親から子へ、子から孫へとつながる重みを、ふだん以上にかみしめたかった。「いないないあ」で和む、あふれた日常があったかかった▼2011年、何万もの命のつながりが、一瞬のうちに断ち切られるのを見た。すかさず、全国から、世界から、献身的な支援が届く。つながりは、地球を一回りした▼仙台市での本会の相談会に来られたのは、被災家族だった。学業継続すらままならないという。別の会場では、引きこもりがちの子を案ずる相談も。細い糸のようなつながりを求める声は、ともに切実だった▼足元を見ると、講演やもちつきに取り組んだ心塾の寮生、太鼓打ちの高校生、医療支援者を指す大学生、味を究める板前――。こちらからは、地域や未来へつながろうとする力強さがうかがえた。涙の11年が、希望の12年につながることを祈る元日。

年頭に寄せて



読書の薦め

公益財団法人 交通遺児育英会
 会長 清水 司

奨学生の皆さま、あしながおじさんを始めて支援くださっている皆さま、明けましておめでとございます。皆さまにとってよき新年でありますように、お祈り申し上げます。先日読んだ本で、吉田兼好の徒然草に「独り燈の下に書を広げて、見ぬ世の人を友とする」とある。こような慰むわざなり」との言葉があり、同じくテカルトが「あらゆる良い、書物を読むことはその作者であった過去の世紀の有徳の士と会話を交わすような

ものである」と言っていることを知りました。短い人生で、しかも我々の多くは限られた世界で過ごすのですから、現身の友との交わりはたかが知れています。そこで兼好法師やテカルトにならば、書物を友にしよとすれば、世には万巻の書物があふれているのですから、身近に多くの友や師を求めることができます。専門分野はさておき、書物には、情懷を刺激して感受性のみずみずしさを保たせ養う

もの、知的、芸術的感性に働かす創造的インスピレーションを喚起するもの、事実、歴史、科学的真実を明らかにしてくれるものなどさまざまに分野があります。これらの読書により、私たちは言葉を知り、言葉で思考し、自身を形成することができます。その言葉以上の思考はできないのですから、読書により多くの言葉を知らなくてはなりません。このように書物の効用にはいろいろな側面と、その側面ごとの価値と、それらを総合

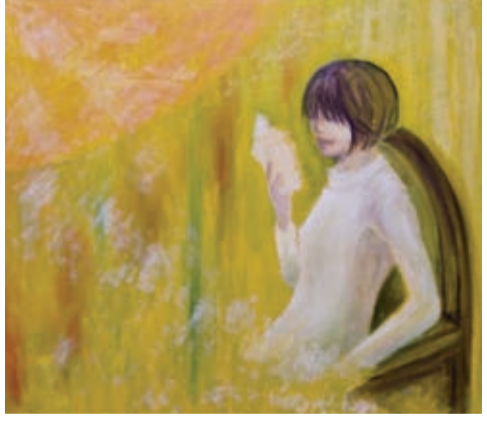
つどい 1泊2日に短縮

全国一括開催 講演・懇談中心に

交通遺児育英会の夏のイベント「高校奨学生と保護者のつどい」を、平成24年度から1泊2日に短縮する

合わせて、全国3プロットに分けて年度ごとに交代で開催していたのを、3地域を一括して対象とする事となった。高奨生の応募は、これまで3年間に1回限りだったが、毎年応募できることになる。ただし、参加できるのはこれまでと同じく3年間で1回限り。この変更により、24年度は8月4〜5日に、千葉市幕張で実施する。日程短縮に伴い、プログラムも一部変更し、初日に講演会と、奨学生・保護者がグループに分かれての懇談会を行う。2日目は自由行動となり、希望者には心塾東京寮の見学会を用意する。

この結果、東京デイスニランドへの観光も、行わないことになった。



愛知県立芸術大学 3年
 白井 弓子

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として

助成を受け作成されたものです。



23年度相談会 震災、不登校：悩み深刻

5会場に19家族 保護者どうし交流も

平成23年度の「高校奨学生と保護者の相談会」は、7月の静岡県から12月の大阪・関西6府県まで、予定通り5道府県・5会場で行われ、全日程を終えた。今年度は、対象180家庭のうち19家庭が参加、参加率10・6%と、前年度より7ポイント下回った。対象数、来場数とも最大規模の東京・関東圏での開催がなかったこと、東北3県（宮城・福島・山形県）を対象とする相談会に訪れたのが2家庭のみだったことなどから、全体の参加率が

対象自治体(開催地)	実施月	対象家庭数	来場者数	参加率(%)	電話相談
静岡県(静岡市)	7月	17	3	17.6	1
宮城県・福島県・山形県(仙台市)	9月	24	2	8.3	0
北海道(札幌市)	10月	27	2	7.4	0
愛知県・三重県・岐阜県(名古屋)	11月	44	4	9.0	0
大阪府・関西5府県(大阪市)	12月	68	8	11.8	0
計		180	19	10.6	1



相談会には家族連れの姿も(静岡会場)

北海道



愛知県(中京3県)



大阪府(関西5府県)



下がったとみられる。震災の影響が、東北の奨学生家庭に及んでいることもうかがわれた。参加した2家庭とも、自宅が津波で全壊や半壊しており、学業を含めて生活全般に大きな困難をもたらしているとの相談が寄せられた。「相談内容例と本会の対応概要は、次の通り」

◆進級・進学・就職
▽通信制高校生で同級生との交流があまりなく引きこもりがち。アルバイトも探しているが、断られることが多い。何をしてもよいかわからない↓単位を落とさないよう学業に励んでほしい。少しでも外に出るきっかけを作るために、アルバイト先を探するなど、社会経験につながる努力を

▽不登校もあって進級が不安↓親でコミュニケーションをうまく取れるよう、きっかけを見つけて解決の糸口にしてほしい。奨学金が停止にならないよう、学業にも励んでほしい

◆ついでに相談会
▽ついでには保護者だけでも参加できるか↓初日の懇談会は、似た境遇の保護者が集まって意見交換する場なので、保護者だけでもぜひ参加を考えてほしい

▽昨年の相談会で同席した別の保護者と知り合い、いまも交流している↓保護者同士が知り合うことも、相談会の意義の一つ。ぜひ交流を続けてほしい

◆海外語学研修
▽1人で参加すること不安がある↓毎年、不安を感じる参加者もいるが、帰国後の作文では「研修中に慣れた」と書いてくる生徒が多い。安心して参加を

▽海外留学から復学したから参加したい↓積極的に活用を。英語力があるなら、とくに資格が厳しいAFSへの応募を勧めたい



市と山あいの十和田湖の間にある、人口6500人の小さな町。

◆2つの日本
2つの日本がある。ニニクの生産量が全国一。ワインからラーメンまで、さまざまなニニク商標を開発して、「ニニクの先」先することになっている。

▲富田君(中央)らは太鼓、奥では流し踊りと神楽部門の練習も(田子高体育館で)

市と山あいの十和田湖の間にある、人口6500人の小さな町。続いて連続出場したため、3年目となる昨年は、規則で出場できなかった。郷土芸能部は、特別部として他の部活動から区別される。全校生徒148人のうち83人が郷土芸能部員。全員が、一般の部活動に必ず参加し、その部活動を優品を開発して、「ニニクの先」先することになっている。

場権を勝ち取っていた。震災被災地の岩手県野田村を、昨年8月に慰問で訪れた。ナニヤドヤラが伝わる南限の地で、富田君も数少ない本番演技の機会を得た。猛暑の中、倒れそうになりながらの熱演。しかし、太鼓よりも、「がれきの山が想像以上に大きかった」ことが印象に残った。

◆夢の全国大会へ
富田君にとって、全国大会は、未体験の晴れ舞台。太鼓リーダー就任の日、ほそっと口を開き、「リーダーになったから富山に行けませぬ」と、顧問の伊藤慎教諭に打診。「選抜されれば」と教諭の答えはつれない。全国大会に参加できるのは約50人。リーダー就任と同時に、部内選抜に残る厳しい競争も始まった。

ナニヤドヤラは、若い男女の相聞歌のような歌詞からなる。高校生には不向きとも思える、エロティックで土着的な表現も。「生徒たちが『これはやめておこう』などと自主的に選んで歌っている。生徒は郷土芸能が好きで取り組んでいるので、任せている。その自主性が、作り物ではない、素直で自然な表情や表現を生んで、高く評価されている(伊藤教諭)」

富田君は、「高校生活で一番楽しいのは郷土芸能」と言い切る。町のナニヤドヤラ保存会にも加わった。卒業したら就職したい。できれば家から通える範囲で。そうすれば、夏になると町を包む、あの太鼓の響きを身近に感じられる。「文化の継承」と構えているわけではない。「楽しい」からだ。

部活動拝見 郷土芸能部

熱血 太鼓打ち 流し踊り 優雅

青森県 県立田子高校 2年 富田 将吾 君



燃える青春

「次の太鼓部門リーダーは、富田将吾君です」前任の3年生から大役を指名された。体育館に整列した仲間から拍手がわく。青森県立田子高校2年の富田将吾君は、幼いころから、毎年、町の盆踊りで流し踊りや太鼓に親しんできた。なぜか、中学生のときに聞いた太鼓の響きがいっまでも耳に残った。

「何がいいのかよくわからない。でも、あの太鼓を自分も打ちたいと思う」その原体験を胸に温め、家からすぐ近くの田子高に進学。2002年の初出場以来、全国大会で何度も上位入賞している郷土芸能部で、太鼓を打ちたかったからだ。

「肩に下げて歩くので、太鼓を左肩から下げ、両手にばち。体は、不自由な形で右に倒れる。耐える。体育館で延々と続く練習で、初めは肩が痛くなった。指には、たこができて、ずつとテーピングしていた。田子町は、海沿いの八戸

町」作りを進めている。もう一つ、郷土芸能部が、10年の全国大会で日本一に輝いた。

最優秀賞を得た「田子の杜の芸能」は、曲技のようにときに激しい田子神楽、青森、岩手、秋田3県の南部地方に広く伝わる、優雅な流し踊りのナニヤドヤラとサイノ節の3つの伝統芸能を融合したもの。その間、郷土芸能部は最優秀賞に輝き、今年8月の全国大会(富山県)への出

異文化に触れる夏



ソールズベリーの大聖堂を訪れた昨年の研修生

海外語学研修生を募集

作文審査で34人選考

交通遺児育英会は、平成24年度海外語学研修(第9期生)に参加する高校奨学生を募集する。派遣する国は前年度と同じイギリス、カナダ、オーストラリアの3か国。期間は夏休み中の3〜4週間で、ホームステイをしながら現地校に通う。応募資格は、高校1、2年生と中学3年生(派遣時は高校1年生)。今回は従来実施していた面接による審査は行わず、作文のみで派遣者を選考する。そのため、作文応募期限も従来の2月末から3週間延長して

いる(イギリスのみ)。中学3年生は、受験を終えてからでも間に合うので、奮って応募してほしい(詳しい日程などは別表参照)。研修内容は次の通り。

■イギリスコース
ロンドンの南西14.5キロ、大聖堂など中世の雰囲気が残る人口4万人の都市ソールズベリーでホームステイしながら、現地校に通う。午前中は英語の授業、午後はスポーツなどのアクティビティ(課外活動)、週末の土、日はエクスカーストン(周辺観光)を通じ

て、他国学生との交流や、現地の環境に触れる。語学授業は各国混成の15人前後で、英語のレベルによって編成し、英会話を中心に楽しく学べるよう配慮している。

■カナダ、オーストラリアコース
この2コースは、高校生

の交換留学など異文化交流事業を行っているAFSD日本協会に委託して行う。

▼カナダコース
英語圏のアルバータ州、オンタリオ州、ニューファウンドランド州に滞在、世界各国からのAFSD生と一緒に研修を受ける。午前中は会話中心の語学授業、午後

は市内近郊の観光、施設見学やハイキングが予定されている。

▼オーストラリアコース
現地の高校で、会話を中心とした英語の授業を約60時間受けるほか、小旅行や近郊の農場見学、パーティなどさまざまなプログラムが予定されている。

の作文を提出する(手書き、またはワープロ可)。原稿用紙3枚に1から3まで番号をつけ、1枚目①奨学生番号(中学生は不要)②郵便番号③住所④氏名⑤学校名⑥学年⑦希望コース(カナダ、オーストラリア希望者は第2希望も記入)を明記。2枚目、3枚目に作文を書き、計3枚を郵送する。

面接審査は行わず、この作文だけで選考する。参加決定者は3月末までに健康診断書と所定の参加申し込み書類を提出する。

参加者・保護者説明会を

6月23日(土)に行う。なお、カナダ、オーストラリアの2コースは、作文審査からオリエンテーションまでに済ませて実施する。

自己負担とする。
●選抜方法
「海外語学研修応募の動機」をテーマとするA4原稿用紙2枚分(800字)

あしながおじさんのお便り

遺児学生の皆さん、お元気にそれぞれの分野でご活躍のこと存じます。私は一昨年末からの膝痛がやっと治りかけて、また自由に行動できるかなと楽しみにしつつ、感謝の毎日を送っています。遅れていた分、気になりながら振り込めず、今は役目が果たせほつしているところで、私も頑張っています。

85歳半は過ぎて、この間、世間の人々にお世話になりました。今回東日本大震災で多くの犠牲者が出て、大変な思いをしている中で、家族で考えました。少額ですが、有意義にお使いいただけます。ただ、ただの寄付ではなく、被災学生の元気づけの通学祈りです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

夫を交通事故で亡くして10年になります。当時、子供2人は社会人で、学費の心配はありませんでした。仕事があり、学費を支え、今が、学費のお子さんをサポートするつもりです。

コース別	研修期間、募集人員、作文応募締め切り
イギリス	7/23~8/13 30人 3/16必着
カナダ	7/21~8/18 2人 2/10必着
オーストラリア	7/27~8/26 2人 2/10必着

【作文など応募書類の送り先】
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-1
公益財団法人 交通遺児育英会
「海外語学研修」係

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

あしながおじさん募集中

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

★ (千葉県 M・Aさん)
★ (北九州市 T・Tさん)
★ (福岡県 C・Sさん)
★ (尾張旭市 K・Iさん)

心塾寮生熱く



寮生に教えられ、もちつきを楽しむ子どもたち

恒例もちつき 4000人が賞味
心塾東京寮(東京・日野市)のもちつき大会が、昨年11月27日、学生寮前で開かれた。開塾以来の年中行事となったもちつき大会は、これが33回目。小春日に恵まれ、家族連れやお年寄り、子供など4000人を迎える地域住民との交流を強めることを目的とした。

心塾東京寮の寮生が、定時制高校生約1000人を前に講演、交通遺児としての体験を語った。講演したのは、横江達哉さん(工学院大学4年)と写真左と佐藤良さん(国士館大学4年)の2人。

心塾関西寮の寮生、関西外国語大学3年、高島すみれさん(21)は写真真ん中。昨年11月19日、高田宮杯2011年全国スペイン語コンクール(日本スペイン協会主催)で、2位に入賞した。コンクールは、スペイン語の原稿(テーマは自由)による書類選考で残った12人が、スピーチを競うもの。スペイン語専攻の高島さんは、10年8月から11年5月までメキシコに留学。帰国後、語学力を試そうとコンテストに応募した。スピーチでは、高校時代、フィンランド留学を終えて帰国した後、わずか2か月で父親を交通事故で失った無念さと、メキシコ留学時に知った、死に対するメキシコ人のおおらかな気持ちを、滑らかなスペイン語で発表して、高く評価された。

2寮生が高校で講演
心塾東京寮の寮生が昨年11月11日、千葉県立佐倉東高校(仲野仁校長)で、定時制高校生約1000人を前に講演、交通遺児としての体験を語った。講演したのは、横江達哉さん(工学院大学4年)と写真左と佐藤良さん(国士館大学4年)の2人。



心塾、ニュースに登場

信越放送
心塾東京寮が、昨年10月10日、信越放送(長野市)のテレビ番組「ニュースワイド」(午後5時45分〜6時25分)で紹介された。秋の交通安全週間に合わせて、事故の被害者に焦点を当てたもので、事故で親を亡くした久力美稀さん(19)、横江達哉さん(21)、浦川真悟さん(22)ら寮生3人の体験を語り、心塾での寮生の生活ぶりが紹介された。

インタビューを受けた石橋健一専務理事は「写真は、全国で支援を求めている人々は数多くいる。これからも交通遺児に対する支援体制の充実が必要」と語った。

山梨県甲府盆地の東に位置する甲州市は、1993年、当時の塩山市、東山梨郡沼沼町、大和村が合併してできた新しい都市である。勝沼は、ブドウ、桃の名産地として知られており、また収穫したブドウからワインを作るワイナリーは、大手から中小メーカーまで多数存在している。

近年、勝沼産ワインは、日本のみならず、海外でもその名が広く知られるようになってきている。

高校奨学生のお母さん・佐竹巳津恵さん(49)の美容院「佐和」の自宅兼店舗も、周囲をブドウ畑と桃の果樹園に囲まれた、のどかな郊外にある。



予約制によりゆっくりとした時間配分で接客

お母さん

ただいま奮闘中



[美容師]

佐竹 巳津恵さん

山梨県甲州市

髪もきれいに心もすっきり

長い付き合いの中で、客に単に髪をきれいにするだけでなく、話をしても、自身の幼い子どもたちという佐竹さんの願いからのもの。そのために余裕を持った時間配分をして、美容

院でゆっくりと話せるために考えられたそうである。定休日を日曜にしたのも、自身の幼い子どもたちと触れ合いの時間をもちたいという希望からだった。今、友達の結婚式の場で知り合

い「和を思いつき、語呂も良くその名前にしたという。転機は突然訪れた。同じ石和温泉で旅館の板前をしていた夫の力さんと、高校時代の同級生で、共通の

員3人を使う美容院を開業することになった。当時を振り返り、「あの時、主人は生活費は何とかするから、従業員の給料と開業資金の返済分だけ稼げれば良いと言ってくれたんです。今にして思うと、好きな美容師の仕事が続けさせたかったのかなと思えます」と語る。無理して開業した美容院が、その後の生活を支えることになった。その時は夢にも思わなかった。

●夫の死と再出発

何とか美容院を開業した

「あなたの小さな娘さんを見て、お母さんの泣いてる姿を見て、お父さんを亡くした2倍の悲しみを味わった。」

残念ながら1年前に開業した美容院は閉じざるを得なかったが、代わりに自宅を増築し、新たな美容院として再出発する決意と引きあわせてきた。幸い、前の店に来ていた多くの客が、再び来てくれるようになった。佐竹さんは振り返る。



「佐和」の看板の前で

ドラマ。今は寝る間も惜しんで見入っているという。そんな佐竹さんの夢は、いつまでも長く美容師として健康であり、少しくも長く高校に入ってもその思いは変わらなず、むしろますます強くなってきた。

iPS細胞の研究にまい進

島根県 坂根 恭平

自分の将来の夢は科学者です。小・中学生の頃から理科数科が好きでした。「いっしょに長所を生かした仕事健康であり、を」と思っていました。高校に入ってもその思いは変わらなず、むしろますます強くなってきた。

他の比較やめ

愛知県 大野 風優

「困難」とは何か。一つには、人生における「障害」といえる。自分が持つ科学的力の本当に、人々へ希望のプレゼントとして実現できたらいいなと思います。

身体的障害があれば「パー」トアウトくのもさえ難いことである。もう一つは、万事に伴う「苦痛」である。災害、事故、そして悲しい、苦しい出来事は全て、困難なことである。

達成したいができないこと、自分ができるのに他に他人ができること。即ち「障害」と「苦痛」である。これが新たな何かの物ごとに立ち向かうときに、他の人ができるということが「苦痛」になったり、あるいは「困難」になる。自分よりできる人がたくさんいる。無意識のうちに「並びたい、あるいは追い越したい」気持ちで働き、「達成したいこと」が生じ得るのである。まさに「困難」そのものである。

高校生の声

大事なのは、困難に対する処し方である。困難は他との比較によって起こることが多い。実に不愉快な話ではある。だが逆に、その「比較」を取っ払って一歩離れた視点で捉えてみると、「困難」ではなく、「目標」服が欲しいとする。しかしお金がなくて買えない、都合から遠いなどといった状況が存在する。あるいは、

亡き夫が残した美容院経営

開業から15年がたち、お年寄りから学生まで客層は幅広く、店が奥まった自宅を改装していることからほとんどの客が固定客である。同年代の客も多く、話の中心は嫁としょうとめとの関係や、夫とのこと。感謝することのできる夫がいるだけでも良いのではという佐竹さんの話には、説得力もある。

●突然の美容院開業

中学から持ち続けていた美容院になる夢は、高校卒業後、事務員をして消えかけたが捨てきれず、周囲の反対を押し切って24歳の時に美容学校に入学した。2年後に石和温泉の美容院に就職したが、当時は温泉で働く芸者が多く、髪の毛をアップする仕事ばかり。12人の従業員が食事をする間もなく働いていた。



常連客で高校の同級生の石橋さんと

「和を思いつき、語呂も良くその名前にしたという。転機は突然訪れた。同じ石和温泉で旅館の板前をしていた夫の力さんと、高校時代の同級生で、共通の

「この仕事は職人として、シャンプーから仕上げまで全てお客さまに満足していただけるよう、何でも自分でやりたい」との一言が、強く印象に残った。

夫は失ってしまったが、「残していったものもたくさんあります」と言葉の広いからだか、乗客の降りるの邪魔だ。大声で騒ぎ、また見に来て下さい」とのわざとよるけたりして、乗客に嫌な思いをさせる。乱暴な学生という印象を与えながら「佐和」を後にした。



近くには収穫を終えたブドウ畑が点在する

忙しく働く佐竹さんが最近ハマっているのは、韓流ドラマ。今は寝る間も惜しんで見入っているという。そんな佐竹さんの夢は、いつまでも長く美容師として健康であり、少しくも長く高校に入ってもその思いは変わらなず、むしろますます強くなってきた。

電車内の高校生

愛媛県 佐伯 北斗

夕方方の電車には下校中の高校生が多い。ドアの周辺に集団でいるのは、そこが広いからだか、乗客の降りるの邪魔だ。大声で騒ぎ、また見に来て下さい」とのわざとよるけたりして、乗客に嫌な思いをさせる。乱暴な学生という印象を与えながら「佐和」を後にした。

「この仕事は職人として、シャンプーから仕上げまで全てお客さまに満足していただけるよう、何でも自分でやりたい」との一言が、強く印象に残った。

夫は失ってしまったが、「残していったものもたくさんあります」と言葉の広いからだか、乗客の降りるの邪魔だ。大声で騒ぎ、また見に来て下さい」とのわざとよるけたりして、乗客に嫌な思いをさせる。乱暴な学生という印象を与えながら「佐和」を後にした。

私の学び舎 夢の扉

国際医療福祉大学 福岡リハビリテーション学部
言語聴覚学科 3年

木原 良さん



は、武者震いだった。脳科学まで、幅広い知識を吸収しなければならぬ。高校生とき、母の知り合いが、シヨックで話せない状態になり、入院した。「失語症といっても、精神疾患が原因の場合もある。脳の損傷が原因の場合、話ができない様を見る。このとき、患者のリハビリを助けるSTが活躍する場面を目の当たりにした。そんな仕事で、職業として存在する、と初めて知った。大学進学を考えたころ、母から「あのSTの仕事はどうか」と提案された。すぐ受け入れた。公立でただ1校、ST受験資格を得られる広島県立大は、競争が激しかった。が、幸いにも地元福岡県に国際医療福祉大がある。STへの第一歩を踏み出した。

1学年の学科定員は40名。6週間の実習を2回、3か月間、キャンパスを出て医療現場に詰めることになる。そのうえで、4年生最後の課業が国家試験。これから1年後、木原さんも当然挑む。

患者に寄り添う STの緊張感

練習しても、それは本番ではないので。実際の患者は、思いもよらぬ反応をするかもしれない。へまをしたら、国家試験どころか、卒業もできないかもしれない。

ものに動じない大らかさの陰には、細心の注意と温かい思いやりも垣間見える。



カラフルな講義室を見渡す言語聴覚学科フロア(右上)と「ざわめきが好き」という食堂で後輩学生と語る木原さん

国際医療福祉大学は、栃木県大田原、神奈川県小田原、福岡、福岡県大川の4市のキャンパスに6学部を展開。栃木、東京、静岡3都県に4つの附属病院を持つ、医療と福祉を専門とするこの大学で、いま約6千人が学び、すでに卒業生約1万2千人が、医療・福祉現場で活躍している。

福岡リハビリテーション学部のある大川キャンパス

木原さんが目指すSTは、Speech - Language - Hearing Therapistの略。要するに、「話す・聞く」言葉の専門家だ。木原さんによると、これに「食べ」るも対象に加わる。言葉を話せない、口から音が出ない(失語症、構音障害)、どもる(吃音)、食べ物を飲み下せない(摂食嚥下障害)などから、自閉症や落ち着きがない(注意欠陥多動性障害)など、現

宝くじは、地方自治体の公共事業等に幅広く使われています。



宝くじの収益金は、病院や検診車、図書館や動物園、災害に強い街づくり、緑あふれる公園、美術館など、皆様の暮らしに役立てられています。